

科目区分・分類	一般・講義	対象学科名・学年	電気電子4年	科目コード	47201140
科目名	国語 Japanese				
担当教員	小池 博明				
単位数(時間数)	必修 前期 1単位 (30時間)	学習・教育目標との対応	(A-1)		
授業の目的と概要	論理的かつ効果的なコミュニケーション能力と、主体的な表現意欲とを培うことで、コミュニケーションスキルについて基礎能力の養成に努める。				
先修科目	国語				
後修科目					
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・国語辞典は、必ず持参すること。 ・課題となる小論文は、ワープロソフトで作成する。 				
	授業項目	時間	内容		
1	ガイダンス	2	・授業を受けるにあたり必要な事を述べる。		
2	語彙 同音異義語・同訓異義語	2	・同音異義語・同訓異義語の語彙力を高める。		
3	語彙 四字熟語・ことわざ・慣用句	2	・四字熟語・ことわざ・慣用句の語彙力を高める。		
4	敬語(語彙・敬語に関する筆記試験を含む)	6	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に必要な敬語を理解する。 ・最後に、これまで学習した語彙・敬語に関する筆記試験も行う。 		
5	文章の基本 正確でわかりやすい文章を書くには	2	・1文を短くし、正確でわかりやすい表現ができる。		
6	文章の基本 書きことば・文章構成の基本	2	<ul style="list-style-type: none"> ・書き言葉と話し言葉の違いを理解する。 ・文章構成の基本を理解する。 		
7	課題1 意見文を書く	4	・これまで学習したことがらを踏まえて、与えられた資料や自ら収集した資料を活用して、自らの意見を正確にわかりやすく、効果的に相手に伝えることができる。		
8	人前で話す心構えと留意点	2	・多くの人を相手に話す際、自らの意見を効果的に伝えるために留意すべき点について、理解する。		
9	スピーチ原稿を書く	2	・興味ある科学技術などについて、適切な情報を収集し、1分間で発表できるよう、原稿を書く。		
10	課題2 1分間スピーチ	6	<ul style="list-style-type: none"> ・他人の話を理解し、意見を述べることができる。 ・他者のスピーチについて、客観的に評価するとともに、建設的な助言ができる。 		
学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	日本語で論理的かつ効果的に双方向的コミュニケーションをとることができることによって、(A-1)の達成とする。 なお、本科目は学習単位科目であり、授業時間30時間に加えて、自学自習時間60時間が必要である。				
成績評価	語彙、敬語に関する試験(25%)・課題1(50%)・課題2(25%) 100点満点により評価し、6割以上を獲得した者を合格とする。				
教材	『大学生のための日本語表現実践ノート』(風間書房)・プリント・国語辞典				
オフィスアワー	月曜日16時～17時。 教員室：管理・一般科棟3階 上記に関わらず、適宜質問などに応じる。				